9 ことばのきまり

学習日　／

要点チェック

(1) 次のそれぞれの文の形を、あとから選び、記号で答えなさい。

□① 星がとてもきれいだ。　□② あれが北極星だ。
□③ 月も白くかがやく。　□④ 宇宙は限りなく広い。

ア　何が(は)―どうする(動作)。
イ　何が(は)―どんなだ(様子・性質)。
ウ　何が(は)―何だ(名前・所属)。

①	②	③	④

(2) 次のそれぞれの文の組み立てを、あとから選び、記号で答えなさい。

□① 北風の吹く冬が来た。　□② 強い北風がごうごうと吹く。
□③ 鳥は飛び、魚は泳ぐ。　□④ 私はみんなが笑うと思った。

ア　彼は父の帰りを待った。(単文)
イ　彼は父が帰るのを待った。(複文)
ウ　冬は寒く、夏は暑い。(重文)

①	②	③	④

(3) 次のそれぞれの文の――線部のことばの意味をあとから選び、記号で答えなさい。

□① 雪の降る夜は寒い。　□② 駅まで五分で行かれる。

ア　その文節が連体修飾語であることを示す。(連体格)
イ　その文節が部分の主語であることを示す。(主格)
ウ　上の語に体言(名詞)の資格を与える。(体言代用)
エ　自発　オ　受け身　カ　可能　キ　尊敬

①	②

確認問題

1 次のそれぞれの文の①主語と②述語を――線部から一つずつ選び、記号で答えなさい。(部分の主語・述語は選ばない)

□(1) ア 少年たちは イ 各自の ウ 運命の エ 重大さを オ 感じた。
□(2) ア 確かに イ その ウ 時 エ 彼も オ その カ 場所に キ いた。
□(3) ア 砂の イ 中には ウ 小さな エ 生き物たちが オ たくさん カ いる。
□(4) ア ヨウコさんの イ お姉さんは、ウ 私には エ いつも オ 親切だ。
□(5) ア ハイジの イ 住んでいる ウ 山小屋には エ もう オ 春が カ 来た。
□(6) ア 私たちの イ 食べ物の ウ ほとんどは、エ 外国からの オ 輸入です。
□(7) ア これは イ 彼の ウ 莫大な エ 財産の オ 中の カ ほんの キ 一部です。
□(8) ア ほんとうに イ きれいだね、ウ 向こうに エ 見える オ 山は。
□(9) ア 今朝、イ 停留所で ウ バスを エ 待って オ いた カ 時、キ 一人の ク かわいい ケ 少女が コ 犬を サ 連れて シ 散歩するのを ス 私は セ 見た。
□(10) ア 危ない イ 目に ウ あいながらも、エ 彼らは オ ようやく カ 山の キ ふもとに ク たどりついた。
□(11) ア この イ 長い ウ つめは エ ひばりが オ やわらかい カ 土の キ 上を ク 歩くのに ケ 役立ちます。
□(12) ア 線路の イ 上を ウ 歩いて エ いた オ 人たちの カ 顔は、キ ショックと ク 疲れの ケ ために コ 青白かった。

(10)	(7)	(4)	(1)
①	①	①	①
②	②	②	②
(11)	(8)	(5)	(2)
①	①	①	①
②	②	②	②
(12)	(9)	(6)	(3)
①	①	①	①
②	②	②	②

SAMPLE

2 次のそれぞれの文の□のことばが飾(かざ)っていることばを、――線部から一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(1) ねこはたくみに ア大きな イねずみを ウとらえた。

□(2) ふと ア窓(まど)の イ外を ウ見ると、 エ夕陽(ゆうひ)で オ一面 カ真っ赤だった。

□(3) あの ア太くて イ大きい ウ木は エ五百年も オ生きて カいます。

□(4) もっと ア ゆっくり イ本を ウ読みなさい。

□(5) 明日から ア待ち遠しかった イ二学期が ウとうとう エ始まります。

□(6) 彼(かれ)は たちどころに アこの イ不思議な ウ現象に エ対して オ明確な カ解説を キあたえた。

□(7) 貴族(きぞく)たちは、しだいに ア自分たちの イ家来で ウあった エ武士に オ勢力を カうばわれた。

□(8) 庭先の ア年老いた イ黒い ウ松は、 エ父の オ祖父が カ植えた キものだと ク聞いて ケいる。

□(9) なつかしい ア私(わたし)の イふるさとは、 ウ北海道の エ北の オはしの カ小さな キいなか町です。

□(10) 父は笑いながら、 アおこった イ顔を ウして エいる オお母さんの カ顔を キ見つめた。

(6)	(1)
(7)	(2)
(8)	(3)
(9)	(4)
(10)	(5)

3 次のそれぞれの文の□に入る適切なことばを、あとから二つずつ選び、記号で答えなさい。(同じものは二度選べません)

□(1) □そこへ行くのですか。

□(2) □彼(かれ)は遅(おく)れてくるだろう。

□(3) □そこへ行ってはならない。

□(4) □おひまなときに、おいでください。

□(5) □雨が降(ふ)るようなことはあるまい。

□(6) □失敗したとしても、くじけるな。

□(7) □鉄のように固い木だ。

ア どうか　イ 決して　ウ たとえ　エ よもや　オ まるで
カ たぶん　キ あたかも　ク かりに　ケ なぜ　コ 絶対に
サ まさか　シ ぜひ　ス おそらく　セ どうして

(5)	(1)
(6)	(2)
(7)	(3)
	(4)

4 次のⒶ群のことばの中から仮名遣(かなづか)いの誤(あやま)っているものを三つ選び、また、Ⓑ群のことばの中から送り仮名の誤っているものを三つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

□Ⓐ
ア みかづき(三日月)　イ こおろぎ(蟋蟀)　ウ こうり(氷)
エ おおきい(大きい)　オ おうじ(王子)　カ おおい(多い)
キ ちぢむ(縮む)　ク おおらい(往来)　ケ じしん(地震)
コ はなぢ(鼻血)　サ とおり(通り)　シ こずつみ(小包)

□Ⓑ
ア 和らぐ　イ 冷める　ウ 明かり　エ 直ちに　オ 危い
カ 改める　キ 幼ない　ク 短い　ケ 難かしい
コ 費やす　サ 必ず
シ 損なう　ス 承る

Ⓐ
Ⓑ

SAMPLE

練成問題

1 次のそれぞれの文の組み立てを、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(1) 久しぶりに　小学校の　先生から　お手紙が　届いた。
□(2) 兄は　会社へ　行き、弟は　学校へ　出かけました。
□(3) 練習が　どんなに　きつくても、彼は　ぐちを　言わない。
□(4) 私は　母が　助けて　くれると　思った。
□(5) 君が　行くのなら、私は　行かない。
□(6) 列車が　すごい　スピードで　私の　前を　通過した。
□(7) 私が　きのう　読んだ　本は　とても　おもしろかった。
□(8) なつかしい　故郷が　しきりに　思い出される。

ア 単文　イ 複文　ウ 重文

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	

2 次のそれぞれの例文の――線部のことばの意味・用法と同じものを、あとのそれぞれの文の――線部から一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(1) これは私のささやかな贈り物です。
ア これが私のすすめる本です。
イ こんな問題がなぜわからないの。
ウ それは駅の売店で買ったものです。
エ 人の失敗を笑うのは、よくない。

□

□(2) あぶないから、そんなことはやめなさい。
ア 明日から二学期が始まる。
イ 成功は努力から生まれる。
ウ 寒いからセーターを着た。
エ 机は木からできている。

□

□(3) ボールペンで書く。
ア 犬と庭で遊ぶ。
イ 駅まで一分で行ける。
ウ 病気で苦しむ。
エ 東京まで飛行機で行く。

□

□(4) 社会科見学に行く。
ア 校庭に集合する。
イ 毎晩十二時に寝る。
ウ 車にひかれる。
エ 旅行に出かける。

□

□(5) 君と会う。
ア 母と買い物に出かける。
イ 努力して学者となる。
ウ ペンとノートを買う。
エ 友達とけんかをする。

□

□(6) しくじって、みんなに笑われた。
ア ふるさとの母のことがしきりに思い出された。
イ 熱があるので、学校へ行かれない。
ウ 校長先生がされたお話は難しくて、よくわからない。
エ 校長先生にほめられた。

□

SAMPLE

□(7) 弟は、いまにも泣きそうだ。

ア カズオ君は東京に行くそうだ。
イ 明日は、雨になるそうだ。
ウ あの人は、とても強そうだ。
エ ここの夏はとても暑いそうだ。

□(8) この本は、あまりおもしろくない。

ア 先生のことばは絶対わすれない。
イ 彼のことは、あまり知らない。
ウ 君が来ないので、みんなが心配しているよ。
エ 今日は、それほど暑くない。

□ □

3 次のそれぞれの組のことばの中から、ことばのきまりの上で他とちがった性質を持っているものを一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(1) ア 早い　イ 静まる　ウ 動く　エ 食べる　オ 走る

□(2) ア すずしい　イ 赤い　ウ ふれあい　エ 弱い　オ 楽しい

□(3) ア そして　イ しかし　ウ あるいは　エ まるで　オ なぜなら

□(4) ア 青い　イ 黒さ　ウ 長さ　エ 赤　オ 学生

□(5) ア 静かだ　イ 暖かだ　ウ 本だ　エ きれいだ　オ おごそかだ

□ □ □ □ □

4 次のそれぞれのことばのⒶ尊敬語とⒷ謙譲語を、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(1) 見る　□(2) 言う　□(3) 食べる
□(4) 行く　□(5) 取る　□(6) する

ア いらっしゃる　イ お取りする　ウ 御覧になる　エ 参る
オ お取りになる　カ 申しあげる　キ 拝見する　ク なさる
ケ おっしゃる　コ いただく　サ 召しあがる　シ いたす

(1)	(4)
Ⓐ	Ⓐ
Ⓑ	Ⓑ
(2)	(5)
Ⓐ	Ⓐ
Ⓑ	Ⓑ
(3)	(6)
Ⓐ	Ⓐ
Ⓑ	Ⓑ

5 次の文章の□に入る最も適切なことばを、あとから選び、記号で答えなさい。

自分が読むことは「①」で、先生が読むのは「②」だ。自分をへり下る③が「お～する」で、人の動作を高める④は「お～になる」だ。しかし、電車に乗って、車掌が「乗車券をお持ちしていない方はございませんか」というのを聞いて、「⑤」ではないかと、人のまちがいに気づいても、自分が人に道をきかれると、「そこの交番でおききしてください」と言ってしまうのだ。むろんここは「⑥」でないといけない。

ア 尊敬語　イ 謙譲語　ウ 丁寧語　エ お読みになる
オ お読みする　カ きいてください　キ おききになってください
ク 持っていない方　ケ お持ちにならない方

①
②
③
④
⑤
⑥

SAMPLE